　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　25年度　源内塾

　　　　　　　　　　　　　　　　　下期　健康関連短期集中コース講義日程

テーマ：医療機器開発を通じて「ものづくり」を系統的に学ぶ。

　　　　　上期は、福祉用具開発の入門編として、車椅子の基本的な機能、機構を中心に学習を行ったが、

　　　　　下期は、医療機器開発の入門を目指した学習とする。

　　　　　具体的には、医学部が取り組んでいる手術ロボット、ダビンチの改良事業をベースとして、まずは、

　　　　　先端の手術現場の実態を学習する。その上で、手術現場で求められる周辺技術のニーズや開発

　　　　　課題など地域企業が取り組めるテーマの発掘を目指し、出来るだけ系統立てて講義する。

　　　　　なお、講義の実施時間帯は、社会人の参加を出来るだけ促すため、原則、土曜日の午後　2時間

　　　　　程度とする。

講義計画：（講義の一部について、講義時間を調整中。場所は、社会連携センター　3階セミナー室。）

講義1■10/12午前（10:00-12:00）

ロボット工学（１）基礎（大阪工業大学工学部ロボット研究科　教授　河合俊和氏）

「ロボットの基本を学ぶ」

・ロボット工学におけるメカニック系、制御系の基礎

講義2■10/12午前午後（13:00-15:00）

薬事法と医療機器開発（神戸大学医学部　講師　吉川典子氏）

「薬事から学ぶ」

・薬事法の目的、薬事法からみた医療機器、ビジネス。

講義3■11/9午後（13:00-15:00）

医学の講義（香川大学医学部消化器外科　助教　西澤祐吏氏）

「医学から学ぶ」

・内視鏡と医療現場ニーズに関する講義

講義4■12/7午後（13:00-15:00）

ロボット工学（２）応用（大阪工業大学工学部ロボット研究科　教授　河合俊和氏）

「ロボットの医療応用を学ぶ」

・医療ロボットの製品例と研究開発

講義5■12/14午後（13:00-15:00）

参加者による意見交換会

「“ものづくり”を考える」

第１回～第４回までのレポート（毎回提出）を基に各自発表。発表テーマとして、全講義の中から１つ選択するか、又は、全体を振り返るか、フリーディスカッション形式で発表、意見交換し、この分野への参入の糸口を探る。

特別講義：(実施の有無を含め調整中)

福祉機器企業経営者の経験談（スワニー　三好会長）

「先人の知恵から学ぶ」

県内で有数の福祉機器企業の会長である三好氏から、福祉機器の開発・商品化・販売を通じた経験や苦労話について、単に「もの作り」に止まるのでなく、顧客に喜ばれる「ものづくり」の意味合いを学ぶ。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上